

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年1月11日から2004年1月17日の週

目次

| | |
|---------------------------------|---|
| 科学技術、メディア、通信および生命科学市場の動向 | 2 |
| 週間ハイライト | |
| 国際 | 4 |
| 韓国 | 4 |
| 中国 | 5 |
| シンガポール/マレーシア/フィリピン/インドネシア | 5 |
| 香港 | 6 |
| 米国 / カナダ | 6 |
| 欧州 | 7 |

この文書は情報提供を目的としており投資助言とはみなされませんし、またこの文書で言及されている会社の証券の購入や売却を推奨しているともみなされません。IRG Limited, f/k/a iReality Group Limited, 及びその関係会社はこの文書に記載されている情報の正確性や完全性についていかなる表現もいたしません。

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年1月11日から2004年1月17日の週

| アジア市場 : TMT及び生命科学関連転換社債 | | | | | | |
|--|-----------------------------------|-------------------------|------------|---------------------------------|---------------|-------------|
| 発行日 | 発行体 | 業務内容 | 償還日 | 発行規模(百万米ドル) | 1万米ドル当転換株数 | 転換最終日 |
| 2004年1月12日 | プロテック (6141.TT) | PCBの製造及び販売 | 2009年1月12日 | 7 | 6,670株 | 2009年1月2日 |
| 2004年1月13日 | チュンファ (2475.TT) | モニター用CRT、LCD等の製造 | 2005年1月13日 | 230 | 20,553 | 2005年10月13日 |
| 2004年1月14日 | インターナショナル・セミコン (3063.TT) | TFT-LCD駆動用ICの組み立て及び検査等 | 2009年1月14日 | 60 | 2,200 | 2008年12月15日 |
| 2004年1月15日 | アサステック (2357.TT) | コンピューター・マザーボードの製造及び販売 | 2009年1月15日 | 281.4 | 3,353 | 2009年1月15日 |
| 2004年1月15日 | ドリームライン (3543.KS) | ADSLとISDNのインターネット接続サービス | 2009年1月15日 | 21.1 | 2,372 | 2009年1月14日 |
| 2004年1月15日 | レッドテック・エレクトロニクス (6164.TT) | LEDランプ、LED表示装置等の製造及び販売 | 2009年1月15日 | 5.9 | 30,081 | 2009年1月5日 |
| 2004年1月16日 | キン・ユアン・エレクトロニクス (2449.TT) | 半導体製造業用IC検査サービスの提供 | 2009年1月16日 | 100 | 7,708 | 2009年1月1日 |
| ナスダック及びニューヨーク証券取引所 : TMT及び生命科学関連新規公開申請 | | | | | | |
| 申請日 | 発行体(取引所) | 業種 | 規模(百万米ドル) | 業務内容 | 主幹事 | 幹事 |
| 2004年1月12日 | リップマン (LPMA.US) (ナスダック) | コンピューター | 118 | クレジット・カード・ターミナル等の電気製品の開発、製造及び販売 | HSBC | メリル・リンチ |
| 2004年1月14日 | ウルトラ・クリーン (UCTT.US) (ナスダック) | 半導体 | 86.3 | 半導体製造措置のサブ・システム開発及び供給 | CSFB | JPモルガン |
| ナスダック/ニューヨーク証券取引所 : TMT及び生命科学新規公開 | | | | | | |
| 上場日 | 発行体 | 業務内容 | 規模(百万米ドル) | 募集価格 | 2004年1月16日の株価 | 公募価格比変化率 |
| アジア市場 : TMT及び生命科学関連新規公開 | | | | | | |
| 発行日 | 発行体 | 業務内容 | 規模(百万米ドル) | 募集価格 | 2004年1月16日 | 公募価格 |

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年1月11日から2004年1月17日の週

| | | | 米ドル) | | 日の株価 | 比変化率 |
|----------------|--|----------------------------------|------|--------------|--------------|-------|
| 2004年1 月13日 | テコム・テクノ ロジーズ (6294.TT) (グレイ) | デジタル・カメラと携帯電 話用カメラの製造及び販 売 | 9 | 39 台湾ドル | 35.5 台湾ドル | 9% |
| 2004年1 月15日 | テスト・セブ (8079.TT) (グレイ) | IC回路及びIC自体の検査 | 1.9 | 24 台湾ドル | 27.1 台湾ドル | 12.9% |
| 2004年1 月16日 | スポーツ・ソウ ル21 (039670.KS) (コスダック) | 日刊紙及び月刊誌の出版 | 3 | 5,200 ウォン | 4,580 ウォン | 11.9% |

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年1月11日から2004年1月17日の週

週間ハイライト

国際

IT

- **ノキアはコンピューター相談室業務を IBM に外部業務委託することで合意。** 5年間2億5000万米ドルの契約。ノキアの従業員430人がIBMに移籍する。IBMは世界57カ国での業務を引き継ぐ。

ソフトウェア

- **IBMはソニーに対してDVD等用のイメージ検索ソフトウェアを供給。** IBMのDB2ソフトウェアをソニー用に改良した。2004年度中にソニーのDVDに搭載される。

韓国

電子商取引

- **韓国の電子商取引売上高は2002年の1504億米ドルから2003年は34%増加し2017億米ドル。** 2000年には企業前売上高の4.5%だったが2003年には16.7%となった。電子商取引への投資は9.1%増。

ハードウェア

- **サムスン電子の第四四半期決算は高性能半導体とLCDパネルの売上高が増加し純利益は前年同期比で24%増加し16億米ドル。** 売上高は22%増加し109億米ドルだった。
- **サムスン電子はLCD工場に23億米ドルを投資。** サムスン電子はメモリー・チップ工場にも10億米ドルを投資する予定。

インターネット

- **コンピューター・セキュリティのアンラブは昨年の売上高が前年比11.4%増加し2330万米ドル。** 営業利益は59.5%増の420万米ドルだった。第四四半期の売上高は800万米ドル。

モバイル/無線通信

- **韓国の携帯電話製造会社各社はスマート・フォン等の新型投入に消極的。** サムスン電子はマイクロソフトのウィンドウズを搭載した多機能付スマート・フォンを発売したが大型なためか人気薄。

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年1月11日から2004年1月17日の週

中国

ハードウェア

- **ファウェイ・テクノロジーの2003年売上高は前年比42%増の38億米ドル。**海外売上高が倍近くの11億米ドル、国内売上高が29%増の28億米ドルとなった。海外売上高比率は27%に増加した。

インターネット

- **中国のインターネット利用者は2003年末現在で前年比34.5%増の7950万人。**増加実数は2040万人。中国は米国に次ぎ世界第二位のインターネット人口を抱える。
- **ヤフーはシナ・ドット・コムと共同でウェブ・オークション・サービスを開始する予定。**中小企業と個人顧客を対象とする。2004年年央に開始予定。

通信

- **中国の通信機器製造会社でモトローラの合併相手であるイースタン・コミュニケーションズの2003年決算は2期連続で赤字。**これで上海に上場している同社のA及びB株は特別指定株となる。
- **モトローラとルーセント・テクノロジーは中国の通信会社の23億米ドルにのぼる通信機器調達で契約会社上位に名を連ねる。**モトローラはチャイナ・ユニコム等から11億米ドルの受注をした。
- **チャイナ・ネットワーク・コミュニケーションズは20億米ドルの海外新規株式公開で投資銀行3社を主幹事に指名。**チャイナ・インターナショナル・キャピタル、ゴールドマン、シティの3社。

シンガポール/マレーシア/フィリピン/インドネシア

ハードウェア

- **ヒューレット・パカードは米国の生産拠点をシンガポールに移転。**5年間で10億米ドル以上を投資し東南アジアの生産を強化する。中国と韓国等の高性能サーバー、プリンター需要に応える。

通信

- **インドネシアの通信会社は今年合計で18億米ドル投資する見込み。**70-80%は携帯電話網構築に投資される見込み。残りは固定回線電話と無線接続用に投資される見込み。
- **シンガポール・テレコムはケーブル回線子会社のC2Cの債務再構築で2億2500万米ドルを投下する予定。**このうち1億1000万米ドルはC2Cの債務5億9200万米ドルの買戻しに充てられる。

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年1月11日から2004年1月17日の週

香港

インターネット

- **香港のインターネット利用者は1月26日から「.hk」で終わるドメイン名を使えるようになる。**当初は1月初めから使える予定だったが延期された。
- **ブロードバンド利用者が過半数となる。**昨年は51%の世帯がブロードバンド接続した。昨年11月現在のブロードバンド利用者は120万で2002年と比較した21%増加した。

モバイル/無線通信

- **ハチソン・ワンボアは香港で1週間以内に第三代携帯電話(3G)サービスを開始する予定。** NECの6163G携帯電話が利用される。香港以外でも3週間のうちにサービスを開始する。

米国/カナダ

ハードウェア

- **IBMは世界中で15,000人の雇用を増加。**米国内での雇用増加は4,500人。その他では中国、インド、欧州で雇用が増加する。総従業員数は33万人に近くなる。その半分以上は米国外での雇用。
- **スリー・コム(3C)は中国、インド、韓国のアジア3市場で今年はITブームを予見。**3Cはアジアで業界首位のシスコに挑戦する。中国では昨年11月にフアウェイと合併で研究所を設立した。
- **ヒューレット・パッカートとデルは電気製品10社が推進するDVDの新基準を支持。**これはブルー・レイDVD技術と名付けられている。1枚のディスクに高品位テレビ放送を4時間録画できる。

IT

- **指標となるインテル、ヤフー、アップルの四半期決算発表で消費者主導の回復加速が明白となる。**インテルは売上高が22%増加し利益は倍以上に増加した。ヤフーの利益は62%増加した。

インターネット

- **ジュニパー・ネットワークの第四四半期純利益は74%増加、売上高はほぼ3年ぶりの増加水準で長らく不振だった通信業界は復調基調。**純利益は1470万米ドル、売上高は2億700万米ドルだった。
- **イー・ベイはクーポン付の販売方針を変更。**製造業者及び小売店から偽造クーポンが多くなっていると言っているため。利用者がクーポンを偽造しオンラインで販売している。

メディア、娯楽、ゲーム

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年1月11日から2004年1月17日の週

- 個人的ネットワークを利用した音楽のダウンロードは6ヶ月間減少が続いた後10月には6%、11月には7%増加。米国の10,000世帯を調査対象とした。

モバイル/無線通信

- シンギュラー・ワイヤレス、NTTドコモ、ネクステル・コミュニケーションズの3社は買収の可能性についてAT&Tワイヤレス・サービスに打診。ボーダフォンも検討している。業界再編が始まる。

ソフトウェア

- マイクロソフトは2年前の独占禁止法適用条項に再度違反と司法省が認定し次世代版ウィンドウズの内容変更^に合意。インターネット・エクスプローラーは自動的に起動しないことになっていた。
- リナックス支持の2社がSCOグループにより著作権侵害だと訴えられているリナックス利用者保護基金に寄付。IBMとインテルの2社。基金にはこれまで300万米ドルの寄付があった。
- マイクロソフトのインターネット・エクスプローラーは特許権侵害だとして裁判所はマイクロソフトに5億2000万米ドルの支払いを命令。4500万米ドルの金利支払いも命じた。

通信

- ケスト・コミュニケーションズは米国ケーブル&ワイヤレス(C&W)の資産買収に関心を示す。ケストは買収検討に必要なC&Wの顧客情報を得ていない。

欧州

インターネット

- インターネット・セキュリティ・システムはドイツのウェブ・セキュリティ企業コピオン社を3300万米ドルで買収。

モバイル/無線通信

- オレンジは画像転送等のマルチメディア・サービスの利用増加を報告。第四四半期は英仏で3300万利用者が840万画像を転送した。第一四半期は120万、第三四半期は230万だった。

半導体

- ASMLは5四半期連続赤字後2003年第四四半期に黒字転換。第四四半期は2020万米ドルの純利益で前年同期の赤字6200万米ドルから黒字転換した。通年では1億9830万米ドルの赤字。
- ジーメンスはインフィネオンの株式21%を売却し24億米ドルを得る。これで持株比率は19%。